

【学校だより】

ほさかっこ

穂坂っ子

【学校教育目標】

心豊かで
かしこく
たくましい子ども

平成29年7月18日 NO.4 穂坂小学校長

体験したことは身につく！（32日間の夏休みをステップに…）

「聞いたことは忘れる、見たことは覚える、やったことはわかる」とよく言われます。これは中国の書『荀子』儒効編の「不聞不若聞之、聞之不若見之、見之不若知之、知之不若行之」からうまれた言葉のようです。意味は、「聞かないことは聞くに及ばず、聞くことは、見ることに及ばない。また見ることは、理解することに及ばない。しかし、理解することは、それを実践することには及ばない。したがって学問は実践の段階まで至って終わるのである」ということだそうです。

私たちの周りには、原体験、自然体験、社会体験、奉仕活動体験等、様々な“体験”があります。学校生活もこれらの様々な体験活動によって成り立っています。学習体験はもちろんですが「休み時間に友だちと遊ぶこと」「給食の準備をして仲よく食べること」「掃除の時間に教室や学校の中をきれいにすること」等も体験活動であり、子どもたちは毎日の体験活動を通して、人間として必要なことを学び成長していると言えます。

家庭や地域においても、このことは言えます。子どもたちは、家庭生活や地域活動の中で、自分なりの考えをもち体験することで、学校では学べない多くのことを学んでいるのです。

ところで、今、求められている力は、学んだことを知識として蓄えることではありません。学んだことをもとに、自分で考え、創造し、実践していく力です。実践の段階では試行錯誤を繰り返し、失敗することも多いでしょう。むしろ失敗の数だけ、成長していくのかもしれない。

もうすぐ、夏休み（7月22日～8月22日）！

32日間の夏休みには、各家庭や地域で様々な体験をさせ、実践していく力を高めさせてほしいと思います。二学期始業式に、一步も二歩も成長した子どもたちに会えることを楽しみにしています。



シリーズ④

褒め言葉の効用！

さりげない一言が、あたたかい！

『がんばったね』『やればできるじゃない』
『あなたなら、絶対大丈夫』『偉いね』
『信じているよ』『よくやったね』

ちょっとした褒め言葉で、子どもは安心するとともに次への意欲を高めます。しかし、そのためには子どもと一緒に行動すること、よく観察することが必要です。

運動会の時、演技に失敗しても頑張っている我が子を見る目がそうだったように、心はいつも子どもに寄り添っていたいものです。

もうすぐ1学期終了です。

子どもたちの1学期のがんばりに目を向け、温かい言葉かけをお願いします。

こんな、夏休みの過ごし方は、いかがですか…？

韮崎市教育委員会では、『週に一度はテレビを消して、親子で読書やふれあいを…』のスローガンのもと、『読書活動の推進と調べる学習への取組』を推奨しています。のんびりと「読書」をしながら落ち着いた時間を過ごしたり、図書館を使った「調べる学習コンクール」に向けて、親子で探求的な活動に取り組んでみたりしてはいかがでしょうか？ 夏休みだからこそ、できることにぜひ挑戦してみてください。

